

## IDF第13期総会記念講演会

講師： 大和 敏彦 氏 株式会社アイティアイ

演題： 「IoTによってビジネスを変える － ビジネスの変化とフォレンジックの役割 －」

要旨：

IoTはツールである。ビジネスの変革にIoTを使って成功するためには、それによって生み出される価値があり、それを適切なコストで実現できるかが重要であり、かつサービスやプロセスとして提供するには、差別化できるかどうかが必要になる。

価値を生むためには、デバイスとクラウド等のコンピュータパワーをネットワークで結びつけ、その処理とフィードバックを実現しなければならない。また継続性や対サイバー攻撃の点でセキュリティは必須のものとなる。

IoTを何に使いどのようなゴールを目指すかを検討する上で、なぜIoTが生まれたのかを知ることにも意味がある。インターネットによって、人と情報が結びつき、人と人、人とモノ、モノとモノへの繋がりへと発展してきた。またクラウドによってコンピューティングパワーがより自由に安価に使用できるようになってIoTが生まれた。ということはインターネット革命で起こったことを参考に、新しいテクノロジーを基に新しい使い方を考えることがIoT活用のゴールを考える上で有効になる。

IoTの活用として、今までできなかったことを実現する方向もあるが、むしろ成功の可能性が高く、実現可能性および効果の高いのは既存の仕組みやプロセスをIoTによって変革する方法である。GE社のIndustrial Internet、ドイツが進めているIndustry 4.0もその流れにある。

今まで繋がっていなかったもの、繋がっていなかったネットワークをネットワーク接続するため、セキュリティ対策は必須となる。リスクを明確化し、どこまで対策を行うかの判断が必要になる。

フォレンジックの対象もデバイスやセンサーまでが対象になり、どこまでの証拠を残すかの判断が必要になってくる。またセンサーやデバイスおよびそれらを使ったアプリケーションの進化だけでなく、エッジコンピューティングのようなアーキテクチャーの変化にも対応する必要がある。

IoTによって今までのITではサイバー化出来なかったところを強化・補強することによって全体最適を目指すことが可能になり、ビジネス変革を加速している。

### 【大和 敏彦 氏 ご略歴】

株式会社アイティアイ（ITi） 代表取締役

慶應義塾大学工学部管理工学科卒。

日本NCRでメインフレームOS開発、日本IBMで研究開発、戦略コンサルタント。

シスコシステムズでCTOとしてIP電話その他のインターネット事業を牽引し、

日本の代表的な企業とのアライアンスおよび共同開発を推進。

その後、ブロードバンドタワー社長として、データセンタービジネスを展開。

ZTEジャパン副社長兼CTOとしてモバイルビジネス担当を経て2013年4月から現職。

アイティアイでは、事業戦略や新規事業戦略策定に関するコンサルティング及びベンチャー企業や外国企業に対しての国内外でのビジネス展開支援を実施。

日本ネットワークセキュリティ協会（JNSA）副会長、VoIP推進協議会会長代理、

総務省・経済産業省等の各種委員会委員、ASPIC常務理事等を歴任。

2015年度に入り、IoT関連での講演が多くなっている。

※著書

「CIOのための「IT未来予測」IoTによってビジネスを変える」2016/2/23刊

「CIOのための「IT未来予測」Vol.2 IoTによってビジネスを変える IT」2015/10/23 電子出版

「CIOのための「IT未来予測」～将来を見据え、目の前のITを評価せよ～」2014/12/19 電子出版